



<本年度クラブ会長方針>

和をもって輪となり、話をもって和とする

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 照井 葉 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 林 順治 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL <http://www.nagoya-osu.org> E-mail office@nagoya-osu.org

人類に奉仕するロータリー

<2016-17年度R.I.テーマ>
R.I.会長 ジョンF. ジャーム



式典
R-1第2760地区
西名古屋分区分区バナー補佐

深谷 友尋

例年プログラム
★国際ロータリー第2760地区
西名古屋分区分区M
「ロータリー財団創立100周年記念」
子供たちにポリオのない世界を
16時30分 受付
17時00分 式典
17時35分 基調講演
18時00分 記念講演
18時55分 懇親会
20時30分 閉会
「アトラクション」

第1607回例会

水と衛生白濁
平成29年3月24日(金)
西名古屋分区分区M
於 名古屋東急ホテル
出席計算数 58名中58出席
出席率 100%
前々回出席率 82・98%
会員 58名

'66年東京大学教養学部基礎科学科卒業。
'93年より芝浦工業大学工学部教授。
2002年より名古屋大学教授を経て、2007年
3月より現職(専門分野:資源材料工学)。
多摩美術大学非常勤講師。

文部科学省中央教育審議会、科学技術審議会、内閣府原子力安全
委員会の専門委員。これまで東京大学などの非常勤講師、芝浦工業
大学では評議員、学長事務代理などを歴任。
著書に「分離のしくみ」(共立出版)、「リサイクル幻想」(文春文庫)、
「二つの環境」(大日本図書)、「何を食えば安全か」(青春出版社)、
「環境問題でなぜウソがまかり通るのか」(洋泉社)他多数。環境に
関する著書が高等学校現代国語の教科書に収録されている。

記念講演 MEMORIAL LECTURE

演題 『エネルギー環境の近未来』

中部大学総合工学研究所
教授 武田 邦彦



記念講演



2016年~2018年度
国際ロータリー理事
さいとう たみ
斎藤 直美

基調講演

基調講演 KEYNOTE LECTURE

演題 『ロータリーがかわる』



アトラクション ATTRACTION

Violinist 寺井 尚子
Naoko Terai

4歳よりヴァイオリンを始め、1988年ジャズ・
バイオリニストとしてプロ・デビュー。
来日中だったジャズ・ピアニスト、ケニー・パロン氏との共演をきっ
かけに、ニューヨークでのレコーディングに参加し、一躍注目を
集める(1997年)。その後も独自性あふれる表現力ゆたかな演
奏スタイルで人気の高いコンサートを中心に、テレビ、ラジオ、
CMなど、幅広く音楽活動を展開している。
最新作『リベルタンゴ・イントロキョー』をはじめ、年1作のペース
で発表しているアルバムは、いずれもジャズ・アルバムとして異例
のセールスを記録。繊細な表現力と情熱的な演奏にますます磨
きがかかる、世界を舞台に活躍するジャズ・ヴァイオリニストである。



懇親会
「アトラクション」

世界銀行がワシントンD.C.の
本部で3月8日に主催した「国際
女性デー」の祝賀行事で、3人の
女性会員がこの質問に答えました。
ラシア・シャーンさん、デボラ・
ウォルターズさん、アン・リー・
ハッシーさんは、300人の聴衆
とライブ中継を視聴した何千もの
人だちを前に、それぞれの活動(ア
フガニスタンでの女子のための学
校建設、グアテマラシティのコミ

輝くロータリー女性会員
世界の反対側に住む人たちの生
活をより良くするために活躍する
3人のロータリー女性会員がいま
す。彼女たちにインスピレーショ
ンを与えるものは何なのでしょう
か。

2017年3月9日

その他・お知らせ

国際ロータリー・ニュース

奉仕の理想 / オオスシンガーズ



捨て場に任む人びとへの支援、アフリカとアジアでの予防接種活動)にまつわるストーリーを紹介し、活動のインスピレーションについて語りました。

「学んでいる子どもたちの顔、権利や夢を求めて立ち上がる人たちの姿、特に不可能だと思われるようなことに立ち向かい、夢を持ってつとめる人たちの姿にインスピレーションを覚えます」と話すのは、ダクスベリー・ロータリークラブ(米国マサチューセッツ州)のジャンさんです。

アフガニスタン出身で現在は米国に住むジャンさんは過去数十年間、アフガニスタンの若い女性や少女たちの生活改善を支援する活動を通じて、アフガニスタンと米国の橋渡し役になってきました。アフガニスタンの Del. Soud 群の625人の少女が通う学校「ザブリ教育センター(Zabul Education Center)」の創設者で、所長を務めるジャンさんは、20



ザブリ教育センター創設者・所長のラシア・ジャンさん。国際女性デーで彼女の活動が称えられました。

15年にこの学校の第一期生が卒業し、近々女子大学が開校する予定であると話しました。この女子学校では、数学、英語、科学、テクノロジーのほか、厳しい社会環境の中で経済的自由を達成するための方法も教えています。



デボラ・ウォルターズ博士(ユニティ・ロータリークラブ会員)。世界銀行が主催した「国際女性デー」イベントにて。

ユニティ・ロータリークラブ(米国メーン州)会員で神経科学者のウォルターズさんは、グアテマラシティの「ミ捨て場に任む子どもやその家族に教育や社会的サービスを提供する非営利団体「Safe Passage)」で長年ボランティア活動をしてきました。

「カヤックのおはあちゃん」としても知られるウォルターズさんは、現地の窮状への認識を高めるため、自宅がある米国メーン州からグアテマラまで、小さなカヤックで旅したことがあります。

ポートランドサンライズ・ロータリークラブ(米国メーン州)のハッシーさんは、ポリオ撲滅とポリオ患者の苦しみを和らげることをライフワークとしてきました。

自身もポリオサバイバーであるハッシーさんは過去14年間、全国予防接種日に参加するために、ロタリアンのチームを率いて発展途上国を訪れてきました。

ハッシーさんは通常、西洋人をあまり見かけない国(バングラデシュ、チャド、マリ、ニジエール、ナイジエリア、エジプトやインドの僻地など)を活動場所として選びます。このような場所ほどニーズが大きく、現地訪問による広報効果と親善こそが予防接種の緊急性を訴える上で大変重要だからです。

世界銀行の Group Staff Association 委員長であるタニエル・セレンさんは、この3人の女性について次のように話します。「私たち世界銀行は、1世代で極貧を終わらせ、人類共通の繁栄を目指して、日々活動しています。……これらの女性は今や、世界を変え、教育・経済発展・保健で革新的かつインパクトの大きなプロジェクトを通じて人びとの生活を



ライブワークとして取り組んできたポリオ撲滅活動が称えられたアン・リー・ハッシーさん。

をより良くできる女性のパワーを身をもって示しています」

(記事: Jane Lawicki)

R-1会長エレクト略歴

17-18年度 R-1会長

イアン・ライズリー



Sandringham RC (オーストラリア、ブクトリア州)

公認会計士。1976年に自身が設立した Ian Riseley & Co. の社長。同社設立以前は、大手会計事務所や企業の監査および経営コンサルティング部門に勤務。

私立・公立学校の理事、サンドリンガム市諮問グループのメンバー、Beumaris Sea Scouts Group の会長、Langri-Taan スキークラブの会長などを務めた経験があり、現在は多くの慈善団体で名誉監査人やアドバイザーを務めている。

東ティモールでの活動を称えられてオーストラリア政府より「AusAID Peacebuilder Award」を授賞。オーストラリアの

地域社会への貢献が認められてオーストラリア勲章を受勲。また、ロータリー財団からは「ポリオのない世界のための奉仕賞」の地域賞を受賞。

1978年にロータリークラブ入会。R-1財務長、理事、数々のR-1および財団委員会の委員長と委員などを歴任。

パストガバナーであるジュリエット夫人とともに、メジャードン・およびロータリー財団遺贈友の会会員。お二人のお子さんと4人のお孫さんがおり、ムアルータックにある自宅の7ヘクタールの敷地では、持続可能で有機的な生活哲学を実践している。

4月6日(木) 例会の案内

SPEAK OUT DAY

4月13日(木) 例会の案内

例会参事 4月16日(土)

春の家族旅行

—伊賀の里モリモリファーム—

* 出発 芸文センター南側

午前8時30分

広報委員会

- 吉田 隆彦・杉浦 令淑
- 近藤 明美・伊藤 正明
- * 本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。